

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	明石市		地区名	大久保駅北周辺(第二期)地区			面積	44ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	1,286百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	公園(大久保駅前東2号公園)、土地区画整理事業(大久保前土地区画整理事業)										
			提案事業	大久保駅前土地区画整理事業(市単独費)、まちづくりニュース発行										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	なし			-			-				
			提案事業	市立大久保小学校避難デッキ整備事業			避難場所として利用する体育館の出入口部の安全確保と、潤い空間の創出を目的としてデッキ整備を計画したが、市内の他の公立小学校と併せて全市的に公立小学校の安全対策等を検討することになったため、交付期間内における事業を取りやめる。			計画期間内での事業を取りやめ、実施順序等について継続して検討しているため、目標、指標及び数値目標への影響はない。				
			提案事業	なし			-			-				
新たに追加した事業		基幹事業	公園(大久保駅前東1号公園)			土地区画整理事業の施行に併せて既存公園を再整備することにより、地区内における住環境の向上を図るために事業を追加した。			土地区画整理事業の施行に起因し、一時的に縮小していた既存公園の再整備であるため、目標、指標及び数値目標への影響はない。					
		提案事業	なし			-			-					
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし						
		変更	平成22年度～平成26年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	公園の満足度	%	53	21	67	26		67	○	あり	積極的な情報提供により地元住民と連携して公園整備を検討することで、利用者にとって満足度の高い施設計画をまとめることができた。		
	指標2	水害の危険度	回/年	7	21	3	26		1	○	あり	土地区画整理事業や雨水管整備事業で集中豪雨時においても被害の最小化を図る施設整備ができた。		
指標3	まちづくりへの関心度	回/年	18	21	24	26		32	○	あり	住民と行政の協力体制を維持しつつ、土地区画整理事業を継続していることや公園整備におけるワークショップなどの取組みが地域住民のまちづくりへの関心度を高めている。			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4) 定性的な効果発現状況	*これまでの取組みによる住民と行政の信頼関係から、大久保駅前東1号公園及び大久保駅前東2号公園の設計に、地元住民がワークショップ形式で参画し、地域の実情に沿った公園施設を設計することができた。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	実施なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-	
	住民参加プロセス	土地区画整理事業の推進に向けた住民と行政の協力公園施設の整備内容を地元住民のワークショップ形式で検討		都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			引き続き住民と行政の協力体制を維持し、土地区画整理事業を推進する公園整備などで積極的な住民参加を促し、地域に合った潤い空間の創出に努める	
	持続的なまちづくり体制の構築	住民へのまちづくり情報の提供		都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			継続して、積極的にまちづくり情報を提供することに努め、住民参加の深度化を図っていく	

様式2-2 地区の概要

大久保駅北周辺(第二期)地区(兵庫県明石市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
拠点地区にふさわしい、質の高い都市空間の形成 目標① 拠点に住まい・快適に暮らせるまちづくり(地域拠点の形成及び住環境の向上) 目標② 安全に安心して暮らせるまちづくり(防災性、減災性の強化) 目標③ パートナーシップによるまちづくり(住民と行政の協力体制の維持・強化)	公園の満足度	単位: %	53	平成21年度	67	平成26年度	67	平成26年度
	水害の危険度	単位: 回/年	7	平成21年度	3	平成26年度	1	平成26年度
	まちづくりへの関心度	単位: 回/年	18	平成21年度	24	平成26年度	32	平成26年度



まちの課題の変化

・これまでに整備してきた施設を適切に維持し、効果を最大限に高めるために、行政と住民のパートナーシップを強化していく必要性が高まっている。行政には区域内に残る未整備箇所の早期整備が求められており、住民にはコミュニティの更なる強化と住民参加の深度化を図っていく必要性が顕在化してきている。
 ・区域内では土地区画整理事業の推進によって道路ネットワークが形成され、安全に安心して暮らせる都市空間が形成されてきているが、区域界部分ではそのネットワークは十分なものではない。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・まちづくり交付金による第一期事業からの継続したまちづくりにより、土地区画整理事業は推進され、快適で安全・安心に暮らせる都市空間が形成されてきたが、残る未整備箇所についても、国庫補助等の財政支援と住民とのパートナーシップにより計画的かつ効率的に事業推進していく。
 ・継続して、積極的にまちづくり情報を提供することで、まちづくりへの住民参加を深度化していく。
 ・これまでの継続したまちづくりにより、住民には自治の概念が浸透してきた。そして、より快適な住環境を整えていくための取組として、住民が主導となり防犯カメラを設置するなどの取組みが行われているが、そのような取り組みと行政の協働により、安全・安心の実現や交通マナーの向上を図っていく。
 ・区域界において道路ネットワーク形成事業を実施することで、地域の道路ネットワークを強化し、成熟した都市空間を形成していく。